

おおの自治協だより

発行：大野地区自治協議会（大野地区コミュニティセンター内）
佐世保市田原町 13-29 ☎ 80-3604
E-mail: oonojichi2508@gem.bbiq.jp



2022年6月15日発行

町内別対抗輪投げ大会の中止について

第1回大野地区自治協議会総務部会を5月20日に開催し、その中で、本年度も町別対抗輪投げ大会の開催について、中止することを決定しました。

なんとか開催することはできないかと、開催規模の縮小について、町別の参加者の制限や応援の制限など、いろいろ検討を行いました。規模を縮小しては町内会相互・各年代の親睦という本来の開催趣旨が達成できないという結論に達しました。

来年度はコロナも終息し多くの皆様のご参加をいただいで開催できることを心から願っております。

総務部会・歴史保存会合同研修について

令和4年5月25日（水）に吉井町の福井洞窟ミュージアムを見学しました。

福井洞窟の概要

福井洞窟は、旧石器時代から弥生時代まで利用されていたそうです。

日本列島にはおよそ4万年前に、人が渡ってきました。そうしてオオツノジカやナウマンゾウなど大型動物の狩猟を行っていたようです。

約1万9千年前の旧石器時代には、福井洞窟の利用が始まります。福井洞窟は、15の地層からなり1万9千年前から1万年前までの9000年間のものがみられます。

縄文時代は1万5・6千年前から始まりますが、寒冷だった旧石器時代から徐々に温暖化がすすみ1万1千年前になると温暖な気候となり、森が発達してきます。そうすると大型動物に代わり、人々はイノシシやウサギなどを狩猟の対象とします。このころから煮炊きに使う土器が出現し、定住がはじまるそうです。

福井洞窟は昭和11年に発見され、昭和35年から昭和39年までに3回の発掘調査が行われ、「細石刃」と「縄文土器」が同じ地層から発見されました。

平成17年に吉井町と佐世保市は合併し、その後2度目の発掘調査が平成23年2月から1年4カ月間行われました。

佐世保市には31の洞窟遺跡があり、全国的にも洞窟遺跡の集中している地域だそうです。

「タイムカプセル」開封について

5月27日（金）に大野地区合併50周年事業として大野地区コミュニティセンター入口付近に埋められていたタイムカプセルを、自治協議会役員で掘り出し開封いたしました。

大野地区合併50周年事業の資料が入っていましたが、残念ながらカプセルに水が入り、資料はボロボロ、参加者の写真はインクが流れて判別できませんでした。



「大野地区防災計画」の有効活用を！

「警戒レベル4」（避難指示）で危険な場所から全員避難！

「警戒レベル5」（緊急安全確保）の発令を待ってはいけません！

【避難所入所に係る注意点】

- 洪水ハザードマップ等で自宅周辺の危険箇所を確認してください。
- 避難所の3密防止のため、親戚や知人宅など、より安全な場所への避難も検討してください。
- 日頃から非常持ち出し品を用意し、避難所には水、食料、常備薬、衣類、体温計などを持参し、マスクを必ず着用して感染症対策をしてください。
- 避難所に行く前に検温を行い、健康状態を確認してください。発熱や風邪等の症状がある場合は、「かかりつけ医療機関」等にも相談してください。

まちづくりのスローガン

ひとよし まちよし 明るい大野